

企業連携（オープンイノベーション）による県内企業の経営革新や新事業創出とスタートアップ（SU）の成長促進支援事業  
2026年4月～2029年2月実施予定（あきた企業活性化センター）

＜事業計画申請時＞

【課題】

- 人口減少・地域過疎進行等、社会環境の急速な変化により様々な地域課題が顕在化し、県内市場縮小、労働人口減少等、経済産業面の課題も深刻化。
- 地域の経済・サービスを支える中小企業・小規模事業者の継続・成長に向け、経営基盤強化や新事業創出、事業承継等、経営革新が急務。
- 地域課題の解決に貢献し、地域社会の新たな原動力となるスタートアップ(以下、「SU」という。)の創出・育成が期待されるが、本県開業率は全国最下位。



【目的】

- SUとの共創（オープンイノベーション）を通じ、地域企業の経営革新や新事業創出を促進する。
- 新たなサービスやプロダクト、技術・シーズを有するSUが、地域企業の経営基盤を活用し新規事業の立ち上げや成長に資する。



【県施策との連携・親和性】

- 県では、中小企業振興指針等により、中小企業の経営基盤強化や事業承継促進に向けた企業連携を推進。
- SU基本方針では、その創出・誘致・育成を推進。県内企業と共に新事業創出や地域課題解決を図る。
- 本事業も計画前段階から県と協議し、事業費の1/2は県補助による。実施にあたっては県やAKISTA（産学官連携プラットフォーム）等と密に連携する。

地域課題解決の取組や複数の地域支援機関の相互連携強化等の取組

【本事業の内容】

- 県内企業の経営課題解決や新事業創出への取組について、新たなサービスやプロダクト、技術・シーズを有するSUとのマッチングと共創（オープンイノベーション）を通じ、県内モデル企業の経営革新を支援するとともに、SU企業の立ち上げと成長を支援する。
- ①企業連携への幅広い啓発と本事業のPR
  - ・県内企業や支援機関等に対し、セミナー、ワークショップ等により、企業連携（オープンイノベーション）の意義や内容、事例、進め方等の啓発や情報提供、本事業に関するPRと理解促進
- ②企業連携のモデル企業の選定と経営革新等の計画具体化支援
  - ・企業連携により経営課題解決や新事業を行おうとする県内モデル企業を公募・選定（3社を予定）し、企業連携により実施しようとする経営革新テーマの具体化と磨き上げを支援
- ③県内モデル企業とSUとのカップリング
  - ・県内モデル企業の共創パートナーとなる県内外のSU候補を公募・マッチングし、カップリング
- ④企業連携による新事業等の実施とフォローアップ
  - ・本事業による助成金のほか、国等の支援メニュー等を活用しながら企業連携を実践。当センターのバディが伴走し「AKISTA」ほか県や関係機関、多様な専門家等が協力
- ⑤県内企業とSUとの交流・マッチング
  - ・上記の連携モデル形成のほか、SU（主に県内起業家）の発掘とプロモーションに加え、県内企業との幅広い交流・マッチングを促進するイベントを開催
- 一連のスキームについては、同様の事業の実施経験と高度な支援スキルがあり、多様な分野、多数のSUとのチャンネルや情報を有する事業者へ委託して実施する。



【結果ならびに成果の目標】

- 実施目標
  - ・セミナー・報告会等参加企業数：100社
  - ・県内企業との連携事業を行おうとするSUの発掘：10社
  - ・県内企業/SU連携モデル形成：3連携体
  - ・県内企業の経営革新や新事業創出：3社
  - ・SUの県内での事業展開と定着：3社
  - ・交流イベント参加企業数：150社 等



【波及効果の目標】

- 県内企業における経営革新や新事業創出、事業承継等の促進と、SUの創出・成長により県内経済・産業の活性化に大きな波及効果を生み出す。
- 県内企業がオープンイノベーションの舞台装置となり、SU（ソーシャルビジネスやスモールビジネスも含む）を連続的・断続的に輩出・育成する地域スタートアップエコシステムを形成。
- 定量目標（センター・AKISTA等による中長期の目標）
  - ・県内企業/SUのマッチング：20件/年
  - ・SUによる新規事業や県内企業の経営課題・地域課題への貢献数：10件/年



【将来の支援目標】

- 当事業の実施を通じ、当センターにおける県内企業の新事業創出支援、起業支援等への取組のアップデートとともに、県事業へのフィードバックを行っていく。
- 具体目標は、センター支援による起業案件数や、県内企業とSUのカップリング数等を経年成果目標として推進していく。